

ORACLE INTERNET DIRECTORY

主な機能と利点

ORACLE INTERNET DIRECTORY

- LDAP v2 と v3 に準拠
- Common Criteria EAL4 準拠
- OpenGroup LDAP 認証
- ウィザードによる簡単な配置
- 通信会社レベルのスケラビリティと高可用性
- スタンドアロン配置およびクラスタ配置
- マルチマスター・レプリケーション、ファンアウト・レプリケーション、部分レプリケーションのサポート
- Oracle Enterprise Manager との管理統合
- Microsoft Active Directory、Sun、Novell、OpenLDAP との統合
- Oracle E-Business Suite、Siebel、Peoplesoft との統合
- 柔軟なパスワード・ポリシー
- PL/SQL および Java によって拡張可能

Oracle Internet Directory は、Oracle Database のスケラビリティ、高可用性、およびセキュリティ機能を利用した LDAP v3 ディレクトリです。Oracle Internet Directory は、Oracle Fusion Middleware のコンポーネントである Oracle Identity Management の中央ユーザー・リポジトリとして機能し、Oracle 環境におけるユーザー管理を簡素化し異機種環境の企業向けに標準ベースのアプリケーション・ディレクトリを提供します。さらに、Oracle Directory Synchronization によって、他のディレクトリや企業のユーザー・リポジトリとシームレスに統合でき、識別情報 (Identity Information) がどの場所にあってもユーザーはその情報を利用できます。

スケラビリティと高可用性

Oracle Internet Directory は、Oracle Database 10g の充実した機能を有効に活用します。基盤となるデータベースと同様、Oracle Internet Directory は、1 台のサーバー上でテラバイト単位の実際のディレクトリ情報をサポートできるスケラビリティを持っています。さらに、マルチプロセスとマルチスレッドの LDAP プロセス・テクノロジーやデータベース接続のプーリング・テクノロジーによって、Oracle Internet Directory は、ミリ秒単位の応答時間を維持しながら万単位のクライアント要求を同時にサポートできます。

Oracle Internet Directory は、ミッション・クリティカルな配置のニーズを満たすように設計されています。基盤となる Oracle Database 10g が大量のデータを格納し、負荷の高い状態で実行されている場合でも、システム障害から瞬時にリカバリできます。さらに、Oracle Internet Directory は、ホット・バックアップ、クラスタ化された論理ホスト、Real Application Clusters、フェイルオーバー、および完全なマルチマスター・レプリケーションなど、すべての Oracle 10g 高可用性ソリューションと技術をサポートします。詳細については、『[Oracle Application Server 10g 高可用性ガイド](#)』を参照してください。

セキュリティ

Oracle Internet Directory は、ディレクトリ・アクセス制御を包括的かつ柔軟にサポートしています。エントリ・レベル、属性レベル、およびプリスク립ティブなアクセス制御がサポートされており、さまざまなレベルのセキュリティを提供します。ディレクトリ・アクセス制御を、高度なパスワード・ポリシー管理機能および各種ハッシング方式を使用してパスワードを格納する機能と組み合わせて使用すれば、企業やサービス・プロバイダのニーズを満たす最適な形で、各機能を利用できます。

管理機能

Oracle Directory Manager 管理ツールは、ディレクトリ・メタデータ情報、パスワード・ポリシー、スキーマ、およびアクセス制御情報など、ディレクトリの運用面での管理に使用できます。分散環境では、Oracle Enterprise Manager Grid

Copyright 2006, Oracle. All Rights Reserved.

本書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。Oracle Corporation は本書に一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。Oracle Corporation は本書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本書は Oracle Corporation の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、および Siebel は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。本書で使用しているその他の名称は、各社の商標の場合があります。

Oracle Identity Management 製品

Oracle Access Manager は、異機種アプリケーション環境におけるアクセス制御、シングル・サインオン、およびユーザー・プロフィール管理のための重要な機能を実行します。

Oracle Identity Manager は、企業の ID プロビジョニングおよび整合性監視に必要な強力で柔軟なソリューションで、ディレクトリ、電子メール、データベース、および ERP などの企業システムにおけるユーザーの作成、更新、削除を自動化します。

Oracle Identity Federation は、業界唯一である ID フェデレーション・サーバーを使用して、異なるドメイン間でのシングル・サインオンを可能にします。この機能は、完全な内蔵型ですぐに使用できます。

Oracle Internet Directory は、LDAP v3 に準拠する強固でスケラブルなディレクトリ・サービスで、Oracle Database 10g プラットフォームの高可用性機能が活用できます。

Oracle Virtual Directory は、データを同期化したり本来の位置から移動したりすることなく、企業の既存 ID 情報に対して、インターネットと業界で標準となっている LDAP ビューおよび XML ビューを提供します。

Oracle Web Services Manager は、ポリシー駆動型のセキュリティ機能と管理機能を既存または新規の Web サービスに追加する包括的なソリューションです。

Oracle Enterprise Single Sign-On は、デスクトップ、クライアント・サーバー、カスタムベースおよびホストベースのアプリケーションといった、ユーザーの全エンタープライズ・リソースに対応する統合されたサインオン機能と認証機能を提供します。

Control 経由で監視できます。

Oracle Directory Integration Platform

Oracle Directory Integration Platform を使用すると、サード・パーティ製ディレクトリを Oracle Internet Directory と同期化できます。また、Oracle Directory Integration Platform では、サード・パーティ製メタディレクトリのベンダーや開発者が、独自の接続エージェントを開発して配備することもできます。サード・パーティ製ディレクトリには、Microsoft Active Directory、SUN Java System Directory Server、Novell eDirectory、および OpenLDAP などがあります。

サポートされている規格と認証

Oracle Internet Directory は、幅広いセキュリティ規格とプロトコルをサポートしています。

- LDAP v2 と v3
- SSL v3、TLS 1.0、SASL
- OpenGroup VSLDAP 認証
- Common Criteria EAL4 準拠

Oracle 製品とのより高度な統合

Oracle Internet Directory は、Oracle Advanced Security Option や Oracle Application Server 10g のような各種 Oracle 製品に対して、ディレクトリ・バックボーンを提供します。したがって、Oracle Application Server を使用する Oracle E-Business Suite といった他の Oracle 製品は、Oracle Internet Directory も使用することになります。また、Oracle データベース・サービスの名前を格納する製品としては、Oracle Names の代わりに Oracle Internet Directory が推奨されています。

Oracle Fusion Middleware のコンポーネント

Oracle Fusion Middleware は、組織の即応性を向上させる実績のあるミドルウェア製品のファミリです。ビジネスの意志決定に必要な情報をより多く提供し、また Oracle および他のベンダーのテクノロジーを含め、異種の IT システム間におけるデータやプロセスの統合を一層簡便化します。Oracle Fusion Middleware の主な製品としては、Oracle Application Server 10g、関連する Application Server 製品とオプション、Data Hubs、および Oracle Collaboration Suite があります。これらの製品は、既に発売されており、全世界の数千の顧客とパートナーがこれらの製品を使用しています。追加情報については、www.oracle.co.jp/products/middleware/ を参照してください。

詳細情報

詳細については、www.oracle.co.jp/products/middleware/identity-management/identity-management.html を参照してください。